

# バックガイドセンサー BGS291

## 取扱説明書

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
 ●取付説明書・取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。本製品取り付け後も大切に保管し、必要な時にお読みください。  
 ●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

### 注意事項の定義について

注意事項は「**危険**」、「**注意**」、「**重要**」に区分しており、それぞれ次の意味をあらわします。

<b>危険</b>	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
<b>注意</b>	守らないと、車両および製品を破損、または故障させるおそれがあるもの
<b>重要</b>	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

### 注意事項

#### 危険・注意

●本製品は車両の後退や縦列駐車などを安全におこなえるよう補助するためのもので、障害物に対する安全を保障するものではありません。車両移動の際は、必ずドライバー自身が障害物に対する安全確認をおこなってください。

#### 重要

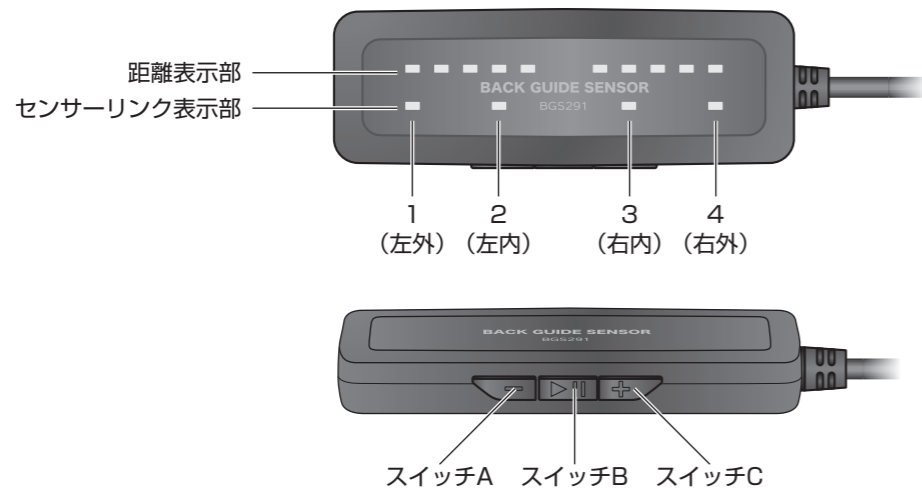
#### [一般的な事項]

- 本製品は、日本国内で車検を受けた車両専用設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。以上の内容に反する行為に対し、弊社は一切の責任を負いません。
- 適合外の車両に取り付けて使用した場合、本製品の保証はすべて無効となり、本製品に関するすべての事柄に対して弊社は一切責任を負いません。
- 適合外の車両に対する装着に関するサポート、および製品本来の使用目的以外の使用に対する動作保証およびサポートは一切致しません。
- 本製品を使用して発生した人身・物損事故、車両の故障・破損・損傷などに関する責任は一切負いません。

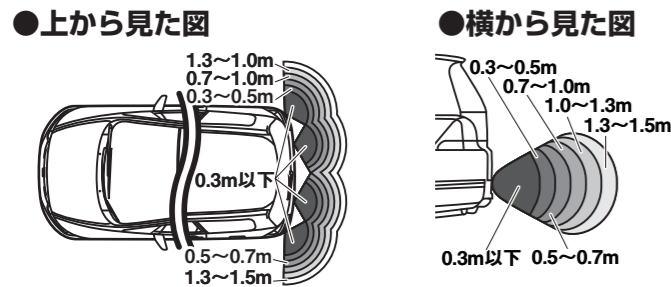
#### [超音波センサーについて]

- 下記のような自然条件や路面条件によりセンサーが影響を受け、本製品が正常に動作しない場合があります。  
 強い雨/濃い霧/高温時/極寒時/凹凸の激しい路面/草などが生えている場所/傾斜した路面/フェンス/金網/踏み切り付近や有料駐車場など、超音波センサーを使用している場所
- 障害物が以下のような形状・材質の場合、反応しにくくまたは反応しない場合があります。  
 小さな障害物/表面が丸い物体(円柱・球状のもの)/布や綿など超音波を吸収する材質/センサーに対して直角に近い向きで当たらない障害物
- 本製品に同梱されているセンサーと、別売品のセンサー以外は一切使用できません。

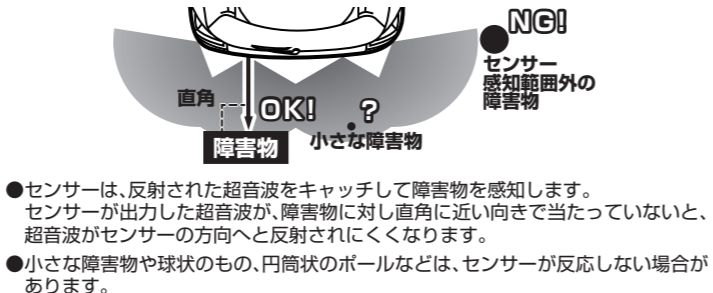
### ディスプレイの各部名称と機能



### 感知エリアのイメージ



### 感知しやすい障害物の形状

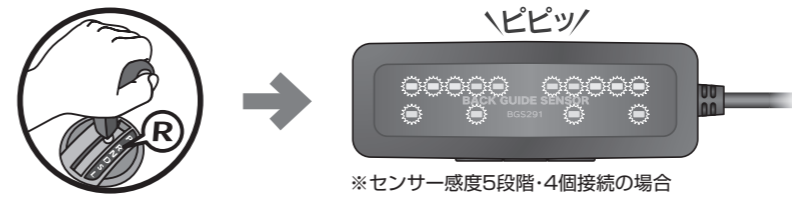


## 使い方

●シフトレバーを「R」にすると、本製品の電源が入ると共に以下の動作をおこないます。

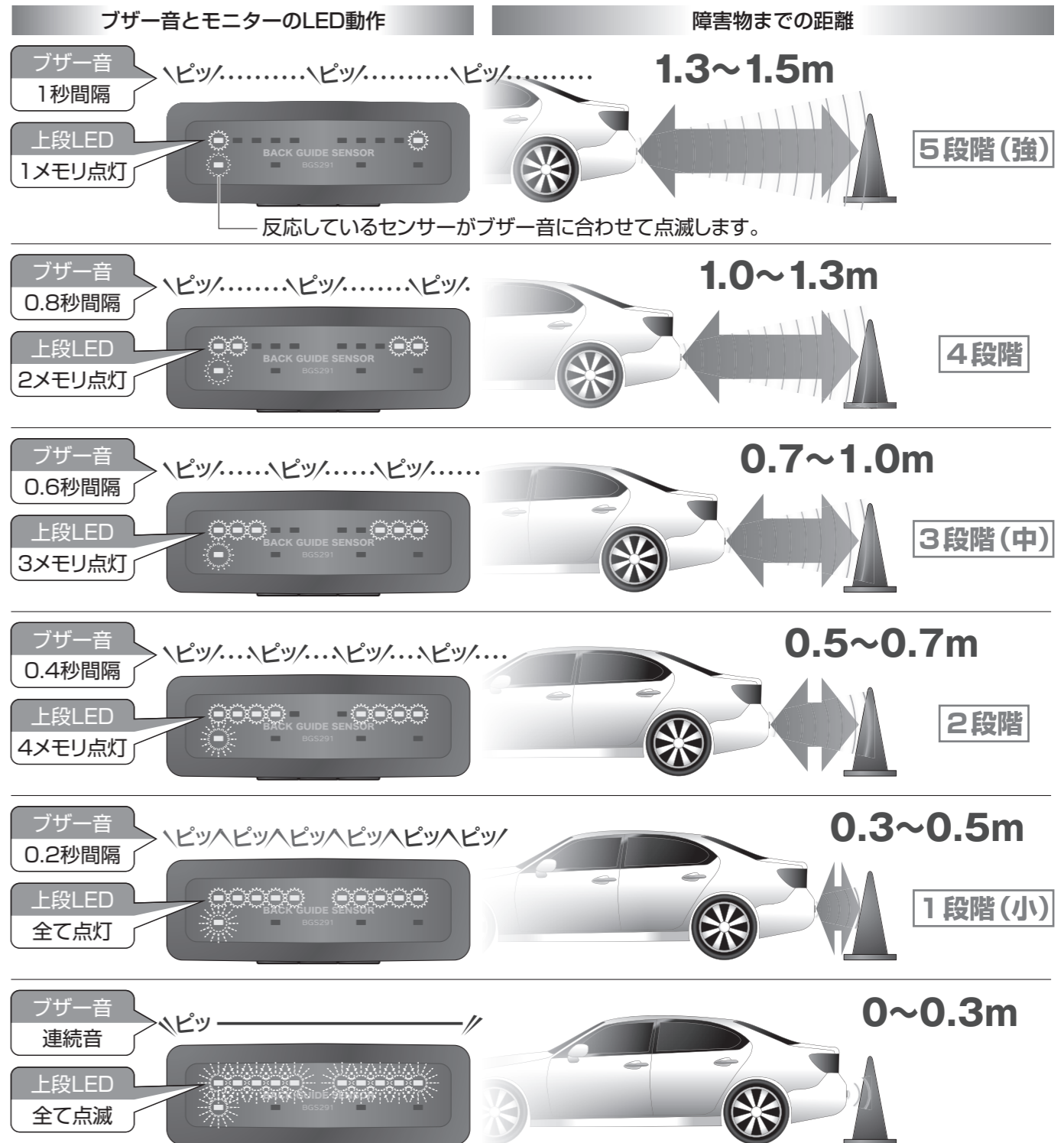
1. ブザーが「ピピッ」音を発する ※ブザーをON設定にしてある場合のみ  
 センサー感度の調整段階(上段LED)と接続されている稼働可能なセンサー(下段LED)を表示  
 0.5秒後にセンサー感度の調整段階(上段LED)が消灯し、接続されている稼働可能なセンサー(下段LED)のみの表示に変化します。  
 ※接続されていないセンサーおよび故障等により接続を認識できないセンサーに対してはLEDが点灯しません。

2. 障害物に反応している場合は表示および警告音を開始する



●障害物までの距離をディスプレイの表示とブザーによる警告音でお知らせします。

それぞれの動作は障害物までの距離に対して以下のようになります。  
 ※反応していないセンサーは点灯したままになります。



# 各種調整方法

**危険** 必ず安全な場所で、ブレーキをしっかりと踏み、サイドブレーキやパーキングブレーキを併用して作業をおこなってください

## ブザーのON/OFF設定

※工場出荷時：ON

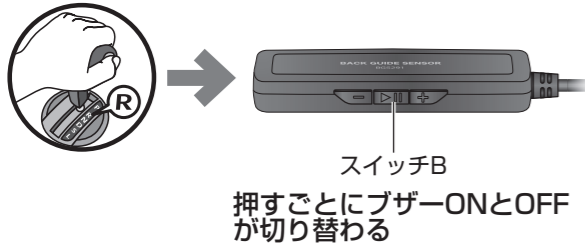
### ●設定方法

- シフトレバーを[R]にして、本製品の電源を入れる

**危険** ブレーキをしっかりと踏んでください

- スイッチBを押すごとにブザーONとブザーOFFが切り替わる

- ブザーをONに設定すると警告音を発します。ブザーをOFFに設定すると警告音を発しません。
- 設定した状態は電源が切れても記憶されます。



## 警告音の音量調整(5段階調整)

※工場出荷時：3段階

### ●設定方法

- シフトレバーを[R]にシフトして、本製品の電源を入れる

**危険** ブレーキをしっかりと踏んでください

- スイッチAを押すと音量が下がり、スイッチCを押すと音量が上がる

- ブザーOFF設定中は音量調整できません。
- 設定した状態は電源が切れても記憶されます。



## ディスプレイ輝度調整(5段階調整)

※工場出荷時：イルミネーションOFF中4段階、イルミネーションON中2段階

### ●設定方法

※イルミネーションON時の輝度調整はスマールライトを点灯させた状態でおこなってください。

- シフトレバーを[R]にして、本製品の電源を入れる

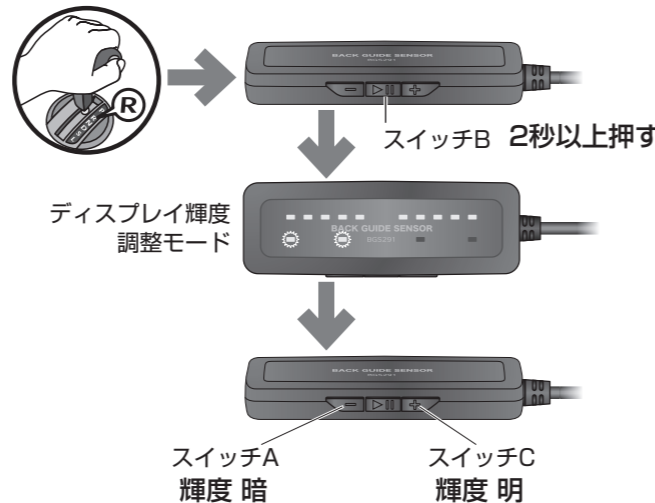
**危険** ブレーキをしっかりと踏んでください

- スイッチBを2秒以上長押しすると、ディスプレイのLED下段の左2個が点滅してディスプレイ輝度調整モードに入る

- スイッチAを押すと輝度が下がり、スイッチCを押すと輝度が上がる

- 再度スイッチBを2秒以上長押しするか、または何も操作せずに10秒経過すると通常の動作に戻る

- イルミネーションON時とイルミネーションOFF時それぞれ独立して調整できます。但し、イルミネーションON時はイルミネーションOFF時よりも明るくすることはできません。
- 輝度調整はディスプレイ全体が同時に変化します。LED個々に対する調整はできません。
- 調整した段階は電源が切れても記憶されます。



## 超音波センサーの感度調整(5段階調整)

※工場出荷時：5段階(強)

**重要** 超音波センサーが地面に反応してしまう場合は、下記の手順でセンサー感度を調整してください。

### ●調整段階

調整段階と検知距離との関係は以下になります。

	検知距離	設定時のディスプレイ表示
5段階(強)	Ø.3m~1.5m	
4段階	Ø.3m~1.3m	
3段階(中)	Ø.3m~1.0m	
2段階	Ø.3m~Ø.7m	
1段階(弱)	Ø.3m~Ø.5m	

### ●設定方法

- シフトレバーを[R]にして、本製品の電源を入れる

**危険** ブレーキをしっかりと踏んでください

- スイッチBを2秒以上長押しすると、ディスプレイのLED下段の左2個が点滅してディスプレイ輝度調整モードに入る

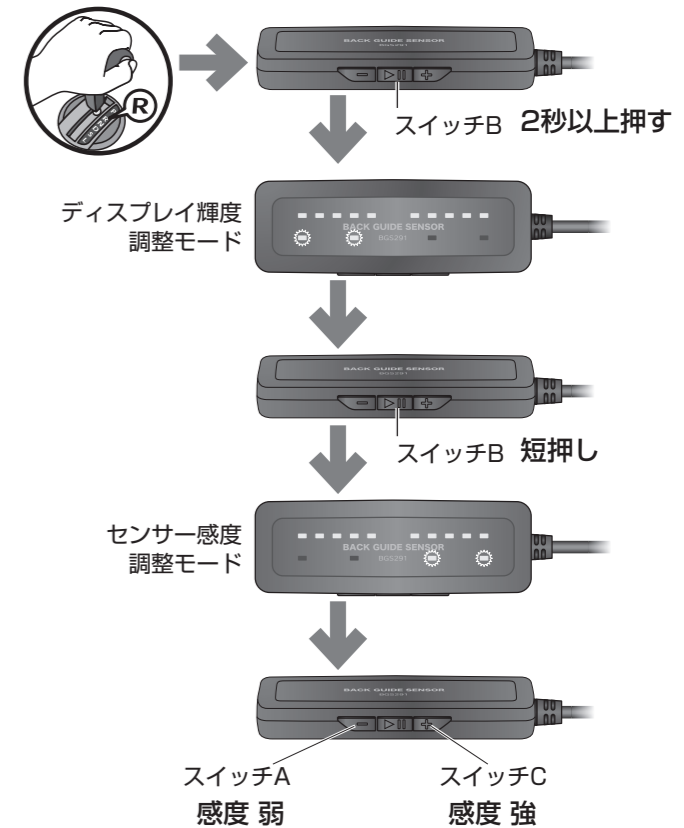
- ディスプレイ輝度調整モード中にスイッチBを短押しすると、ディスプレイのLED下段の右2個が点滅してセンサー感度調整モードに入る

- スイッチAを押すと感度が下がり、スイッチCを押すと感度が上がる

- 調整段階は距離表示部のLEDの点灯数でお知らせします。また、設定変更後は電源が入るごとに調整段階を0.5秒間表示します。

- 再度スイッチBを2秒以上長押しするか、または何も操作せずに10秒経過すると通常の動作に戻る

- 感度調整は接続している全てのセンサーの感度が同時に変化します。センサー個々に対する調整はできません。
- 調整した段階は電源が切れても記憶されます。



## 工場出荷状態に戻す(リセット)

### ●リセット方法

- スイッチBを押しながら電源を入れる(シフトレバーを[R]にする)と、各設定が全て工場出荷時の状態に戻る



### ご相談窓口

**お電話** サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)  
086-486-0442

【受付時間】  
月曜日~金曜日 10:00~12:00 / 13:00~17:30  
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

**メールでのお問い合わせ(PC)**  
<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

**メールでのお問い合わせ(スマートフォン)**  
<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



**Data System 株式会社 データシステム**  
<https://www.datasystem.co.jp/>

■ [ 本 社 ] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [ 倉敷支社 ] 岡山県倉敷市神田1-1-11  
本書は著作権法で保護されています。取扱(取付)説明書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転写・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。  
BGS291use-1805-AKN